

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成30年6月7日 (2018.6.7)

【公開番号】特開2017-55557(P2017-55557A)

【公開日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2015-177757(P2015-177757)

【国際特許分類】

H 0 2 M 7/48 (2007.01)

H 0 5 B 6/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 7/48 Z

H 0 5 B 6/04 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月17日 (2018.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直流電源部から出力される直流電力の脈流を平滑する平滑部と、
前記平滑部による平滑後の直流電力を交流電力に変換するインバータ部と、
を備え、

前記インバータ部は、スイッチング動作可能な二つの半導体素子が直列に接続されてなる第 1 モジュール及び第 2 モジュールをそれぞれ含む一つ以上のブリッジ回路を有し、

前記平滑部は、前記ブリッジ回路の前記第 1 モジュールがそれぞれ接続される一つ以上の接続部を有する第 1 の一対のバスバーと、前記ブリッジ回路の前記第 2 モジュールがそれぞれ接続される一つ以上の接続部を有する第 2 の一対のバスバーと、前記第 1 の一対のバスバー及び前記第 2 の一対のバスバーの前記接続部毎に少なくとも一つ設けられる複数の平滑用コンデンサと、を含み、

前記第 1 の一対のバスバー及び前記第 2 の一対のバスバーは、通電方向に沿う外表面に少なくとも一つの平面を含み、該平面のうち面内における前記通電方向と直交する方向の寸法が相対的に大きい平面を互いに対向させて且つ絶縁材を間に挟んで積層されている誘導加熱用電源装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の誘導加熱用電源装置であって、

前記平滑用コンデンサは、前記平滑用コンデンサの一面に並設された一対の端子を有し、

一対の前記端子は、一対の前記バスバー及び前記絶縁材を積層方向に貫通して一対の前記バスバーに接続されている誘導加熱用電源装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の誘導加熱用電源装置であって、

前記接続部は、一対の導電材と、絶縁材とを含み、

一対の前記導電材は、通電方向に沿う外表面に少なくとも一つの平面を含み、該平面のうち面内における前記通電方向と直交する方向の寸法が相対的に大きい平面を互いに対向させて且つ前記絶縁材を間に挟んで積層されている誘導加熱用電源装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の一態様の誘導加熱用電源装置は、直流電源部から出力される直流電力の脈流を平滑する平滑部と、前記平滑部による平滑後の直流電力を交流電力に変換するインバータ部と、を備え、前記インバータ部は、スイッチング動作可能な二つの半導体素子が直列に接続されてなる第１モジュール及び第２モジュールをそれぞれ含む一つ以上のブリッジ回路を有し、前記平滑部は、前記ブリッジ回路の前記第１モジュールがそれぞれ接続される一つ以上の接続部を有する第１の一对のバスバーと、前記ブリッジ回路の前記第２モジュールがそれぞれ接続される一つ以上の接続部を有する第２の一对のバスバーと、前記第１の一对のバスバー及び前記第２の一对のバスバーの前記接続部毎に少なくとも一つ設けられる複数の平滑用コンデンサと、を含み、前記第１の一对のバスバー及び前記第２の一对のバスバーは、通電方向に沿う外表面に少なくとも一つの平面を含み、該平面のうち面内における前記通電方向と直交する方向の寸法が相対的に大きい平面を互いに対向させて且つ絶縁材を間に挟んで積層されている。